



2021年4月14日

各 位

株式会社スーパーバリュー  
 代表取締役執行役員社長 岸本圭司  
 (コード番号 3094)  
 (問い合わせ先)  
 常務取締役執行役員 中谷圭一  
 電話 048-778-3222(代)

**特別損失の計上、法人税等調整額の計上及び  
 通期業績予想値と実績値との差異並びに剰余金の配当に関するお知らせ**

当社は、2021年4月14日開催の取締役会において、下記のとおり特別損失の計上及び法人税等調整額の計上を行うとともに、2020年7月6日に公表しました2021年2月期の通期業績予想の修正数値と本日公表の決算におきまして差異が生じたので、お知らせいたします。

また、2021年2月28日を基準日とする剰余金の配当を下記のとおり決議しましたので、併せてお知らせいたします。

なお、当社は会社法第459条第1項各号に定める事項を取締役会決議により行う旨を定款に定めております。

記

1. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、収益性の低下が見られたため店舗に係る減損損失として8億61百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 法人税等調整額の計上について

当社は、当期の業績回復及び今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性が認められる部分について法人税等調整額(△は益)を△3億17百万円計上いたしました。

3. 通期業績予想値と実績値との差異について

2021年2月期通期業績予想の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	80,000	945	993	690	108.95
今回実績 (B)	79,720	1,306	1,375	625	98.80
増減額 (B - A)	△279	361	382	△64	△10.15
増減率 (%)	△0.3	38.2	38.6	△9.3	△9.3
(参考) 前期実績(2020年2月期)	76,643	△927	△830	△2,304	△363.95

差異の理由

修正業績予想からの業績につきましては、価格政策に取り組み、価格にメリハリをつけ値頃感のある価格で販売を推進、新型コロナウイルス感染症拡大の予防等による巣ごもり消費の需要等もありましたが、9月以降は消費に陰りが見られたほか、前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動減もあり売上高が減少した結果、予想を下回る797億20百万円となりました。

また、売上総利益は、継続して取り組んでいる生鮮の利益改善、グロサリー及びHCは在庫の適正化に取り組みロス削減による利益改善等及び売上高に連動し増加、販売費及び一般管理費は、

前期出店した新店2店舗に係る各種経費等の増加はありましたが、チラシ販促を効率かつ政策的に展開、徹底した経費削減を進めたことにより、営業利益は13億6百万円、経常利益は13億75百万円とともに予想を上回る結果となりました。なお、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき店舗に係る減損損失を計上したことにより、当期純利益は6億25百万円と予想を下回る結果となりました。

#### 4. 剰余金の配当について

##### ①配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年4月14日発表)	前年実績 (2020年2月期)
基準日	2021年2月28日	同左	2020年2月29日
1株当たり配当金	10円00銭	5円00銭	5円00銭
配当金の総額	63百万円	—	31百万円
効力発生日	2021年5月10日	—	2020年5月14日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

##### ②決定の理由

当社は、将来の事業展望と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に対して適正かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

また、当社の剰余金の配当は、期末配当の年1回を基本方針としております。

2021年2月期の配当につきましては、増収増益となりましたので、2020年4月14日にお知らせいたしました配当予想の1株当たり5円00銭に5円00銭増配して、普通配当として1株当たり10円00銭の配当の実施を決議いたしました。

##### (参考) 年間配当金の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	0円00銭	10円00銭	10円00銭
前期実績(2020年2月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭

以上